

株式会社ユニテッドアローズ 2020 年 3 月期第 1 四半期 決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、8 月 6 日（火）、7 日（水）に開催したマスコミ向け、アナリスト・機関投資家向け決算説明会にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問をカテゴリー別にまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

●2020 年 3 月期動向について

Q、第 1 四半期の対計画の進捗について知りたい

A、今期から中間期の計画も開示を取りやめており、四半期毎の対計画の詳細説明は行なわない方針です。第 1 四半期の利益は若干計画を超えていますが、天候要因で 7 月が苦戦しており、7 月までの累計ではほぼ計画水準となる見込みです。

Q、前期に比べ小売既存店に弱さが見られているが、天候以外でのマイナス要因があれば知りたい。

A、働く女性の増加に伴いウィメンズのオフィス需要が続いていますが、求められるものがよりカジュアルな方向にシフトしています。その変化への対応にやや遅れたグリーンレーベル リラクシング事業（GLR）のウィメンズ部門が当初苦戦しました。この変化にあわせて期中に商品を切り替えており、現在は改善傾向にあります。

Q、第一事業本部のメンズドレスが好調とあるが、その背景は？

A、ユニテッドアローズ事業（UA）のメンズドレス部門では、UAらしさを残しながら機能性素材を使った商品を販売し、ご好評いただいています。加えてメンズドレスのカジュアルラインが好調で、業績が復調しています。

Q、ネット通販のサイト別の詳細を知りたい。

A、主要サイトの動向は以下の通りです。その他はサイト別に強弱はあるものの、大半のサイトが前年を超えています。

	売上高前年同期比	構成比	前年同期差
ユニテッドアローズ オンラインストア	119.2%	27.0%	1.0pt
ゾゾタウン	109.6%	50.8%	▲2.2pt
楽天ブランドアベニュー	166.5%	11.5%	3.5pt
アマゾン	92.3%	2.9%	▲0.7pt

Q、ユナイテッドアローズ オンラインストア（UA オンラインストア）の運営内製化に向けての進捗状況は？

A、今秋をターゲットに、まずは自社運営を安定的に行なえるよう準備を進めています。実店舗での準備期間も考慮し、実店舗と連動した各種オムニチャネルサービスは今期末にかけて段階的に開始する見込みです。

Q、(株)コーエンの伸びがやや鈍いように鈍く感じるが、既存店の状況を知りたい。

A、(株)コーエンの既存店売上は小売＋ネット通販が102%、小売が102%、通販が100%です。ここ数年の伸びで前年ハードルが高くなっており、伸び率は若干鈍化してはいますが、全面的に弱くなっている状況ではありません。

Q、第1四半期は販管費が抑制されているが、今後伸び率が高くなるのはどの四半期か？

A、販管費の伸びは、特に第2四半期が高くなる見込みです。新規出店のコスト、UA オンラインストアの運営内製化にかかるコストが多く発生します。

Q、免税売上の状況を知りたい

A、免税売上は(株)ユナイテッドアローズと CHROME HEARTS JP 合同会社(CH JP)の合計で、ほぼ前年並みとなっており、前期よりも伸び率がやや鈍化しています。

Q、当初構想から物流センターの運営方法に修正をかけているが、どこに課題があったのか？この修正によるコスト増加の見込みを知りたい。

A、前期に流山センターに移管したものの運営面で非効率な部分もあったため、今回の説明のように運営方法を変えました。この変更に伴うコストは、今期計画に織り込まれています。来期以降、一部コストが増える部分と効率化が進む分の差し引きで数千万のコスト増になる可能性もありますが、UA オンラインストアの売上拡大などで吸収していくことを目指します。

●次期中期計画について

Q、次の中期計画期間中に CH JP が連結対象から外れるが、そのインパクトを織り込んだ上での利益拡大の構想を知りたい。

A、次の中期計画は討議中で、大枠はできていますがまだ具体的なお話ができるタイミングではありません。CH JP が連結から外れるマイナスインパクトはありますが、いろいろな取り組みのかけあわせでカバーする方針です。現在の中期計画立案時に比べ、トレンドマーケットのポテンシャルを感じており、もっと収益性を上げられると考えています。ミッドトレンドマーケットについても、GLR のスケールメリットを活かした収益拡大を図る方針です。実店舗に比べて収益性の高いネット通販の拡大も、大きなプラス要因となります。

以上